

Drafting and Design

設計製図

Step4ー設計製図の学習を始めましょう。ー

最初の敵を無事倒したとしても、まだ設計製図という手強い敵が残っています。
 しかし、どんなに手強い敵だとしても弱点があります。
 そこを見逃さずに攻め切れるか。
 ステップ4では、ラスボスである設計製図について詳しく学習します。
 ここが最大の山場です。
 学科試験の合格に浮かれず(自己採点ですが)最後まで走りぬきます。

□設計製図試験

構成ー設計製図のみの1科目

問題ー平面図、立面図、床伏図、矩形図、面識表など

方式ー設計課題に対して建物を計画し、要求された設計図面一式を完成させる実技試験

合否ーほぼ減点方式で行われ、採点項目により1～4段階に区分され、ランク1のみ合格

設計製図試験は、課題文から設計条件を読み取りポイントを理解すると共に、短時間で無駄のないプランをまとめる作図力が問われる試験です。

□設計製図の試験日程：平成20年9月14日

11:15～11:30 (15分)	注意事項等の説明
11:30～16:00 (4時間30分)	設計製図試験

・memo

□過去7年間の課題一覧

学習は、学科の試験が終わる7月上旬から始めても十分に合うが、合格するためには試験までに20枚前後書く必要がある。

年度	出題地域	設計課題	要求図面
H13	近畿除く全ブロック	英会話教室併用住宅	平面図、立面図、矩形図
	近畿	ルーファガーデンのある二世帯住宅	平面図、立面図、断面図、仕上表
H14	北海道、東北、関東、近畿、中国四国	工房のある工芸品店併用住宅	平面図、立面図、矩形図
	東海、北陸、九州	商店街に建つコミュニティ施設	平面図、立面図、断面図、仕上表
H15	近畿除く全ブロック	吹抜けのある居間をもつ専用住宅	平面図、立面図、矩形図、面積表
	近畿	住宅地に建つ動物病院併用住宅	平面図、立面図、断面図、面積表、仕上表
H16	全国	趣味室のある専用住宅(木造2階)	平面図、伏図、矩形図、面積表
H17	全国	近隣の街並みに配慮した車庫付二世帯住宅(木造2階)	平面図、伏図、矩形図、面積表、立面図
		地域に開かれた絵本作家の記念館(鉄筋コンクリート造2階)	平面図、立面図、断面図、面積表、仕上表、主要構造図
H19	全国	住宅地に建つ喫茶店併用住宅(木造2階)	平面図、伏図、立面図、矩形図、面積表

Drafting and Design

設計製図

□設計製図の学習の進め方	✓POINT
1. 答案例のトレースをする。 過去の試験課題を元に、答案例を見ながら作図練習を行います。 試験としての作図表現、図面形式に慣れることを目的とします。	最初は模範解答を真似ることから始める。慣れるまでは、同じ図面を繰り返し書くと
2. 作図をする。 答案例を単線のエスキースプランとして、それを参考に図面を完成できるようにします。 スケール感や線の濃さも意識しながら、合格するための基礎的な力を身につけます。	効果的。1階と2階を同時進行で仕上げていくなど、要領よく作図することが大切。
3. エスキースをする。 各課題の問題から設計条件を理解し、平面計画をまとめられるようにします。 約1時間を目標とし、エスキースの力と設計のポイントを把握する力を身につけます。	
4. 課題文から全図面を作図する。 エスキースから全図面の作図までの全てを、目標時間を設定し行います。 作図スピードと表現力を身につけます。	
5. 自己チェックをする。 作図力及び計画力と共に、課題条件を見落とさない自己チェック能力を身につけます。	
□設計製図の学習の進め方	✓POINT
<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間内で書き終えること ・ 単純明快な計画であること ・ メリハリのきいた美しい図面であること ・ 誘導的表現に注意すること 	他の人が書いた図面を見ることも重要。現段階の実力も確認でき、さらには、
誘導的表現 — 出題者は問題を作成する際に、実際にプランニングをし、自らが配慮した部分や、計画的に優れている部分を設計与件として提示している場合が多くあります。問題文の中には、誰が計画しても模範解答に近づくよう誘導している条件があり、これを誘導的表現と呼びます。	人それぞれ特有の書き方や癖を持っていて、それが時間短縮の切り札になる。
つまり受験生にはなるべく出題者側の設計に近いものを作図することが求められ、設計条件は模範解答に誘導してくれるものとして問題文を読む態度が必要です。	・ memo 詳しい誘導的表現は P22 に

Drafting and Design

設計製図

□練習と成果

	日時	エスキース	平面図	立面図	床伏図	矩形図	断面図	合計時間	
	目標	60	80	20	30	60		4時間10分	
1	7月8日	60	190	40	90	150		8時間50分	
2	7月14日	60	210	30	90				
3	7月15日	50	170	35	60	100		6時間55分	
4	7月21日	50	120	30	50	90		5時間40分	
5	7月22日	45	140	30	45	90		5時間50分	
6	7月28日	30	125	40	50				
7	7月29日	30	110	25	45	85		4時間55分	
8	8月4日	50	110	25	45	90		5時間	
9	8月5日	50	100	30	50	80		5時間10分	
	夏期休暇			30×6	40×6	70×6	30×6		
10	8月19日	30	100	30	40	70		4時間30分	
11	8月25日	40	90	25	45	60		4時間20分	
12	8月26日	30	90	20	40				
13	9月1日	35	95	25	35	55		4時間5分	
14	9月2日	40	80	20	40	50		3時間50分	
15	9月4日	50	90	20	30	60			・ memo
16	9月6日	40	75	30	35	50		3時間50分	書く量が多いせいもあるが、
17	9月9日	60	75	20	35	50		4時間	矩形図と平面図は作図すれ
18	9月11日	40	80	15	30	55		3時間40分	ばするほど作図時間が短く
19	9月13日	30	75	20	35	60		3時間40分	なる。時間の少ないときは
20	9月14日	40	80	20	30	55		3時間45分	時間が短縮しやすいものを
	本試験	55	85	15	30	50		3時間55分	重点的に練習する。

□目標

とにかく試験時間の4時間30分以内に書き終えることが最大の目標です。

時間の許す限り、1枚でも多くの図面を書き続けます。

しかし、その前にどういう書き方が減点になるのかをきちんと把握する必要があります。

そのためにも、テキストなどで確認するだけでなく、過去に試験の採点をしていた経験があるような専門家の人に添削してもらうことが重要です。

・ memo

極論を言えば見栄えが悪くても減点にならない書き方をすれば合格できる。

□まとめ

1. まずは、減点項目を把握する。
2. 次に、図面を書きまくる。
3. そして、エスキースの引き出しを増やし、どんな問題にも対応できるようにする。